

尾山台地域体育館

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和59年(38年)	487.00㎡		1,367.36㎡	1,206.27㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
尾山台3-19-3	RC造	(地上/地下) 2/0	ほっとスクール「尾山台」				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立地域体育館・地区体育室条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	地域及び地区住民の健康と相互交流を促進し、区民の福祉を増進するため、世田谷区立地域体育館(以下「地域体育館」という。)及び世田谷区立地区体育室(以下「地区体育室」という。)を設置する。		
小区分	体育館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	3h-2h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	56,202	50,430	5,772	111
	物件費等	45,587	41,608	3,979	110
	物件費	45,587	41,608	3,979	
	うち光熱水費	3,100	2,094	1,006	
	うち委託料	42,401	39,412	2,989	
	うち土地建物設備賃借料	29	32	▲3	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	5,628	5,628	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	2,973	1,932	1,041	
	(配賦)間接コスト	2,014	1,262	752	
	投資的経費	499	0	499	
収入	総収入	5,717	4,603	1,114	
	使用料・手数料	5,678	4,576	1,102	
	その他	39	27	12	
建物情報	建物取得価額	294,062			
	建物減価償却累計額	239,366			
	建物残存価額	54,696			

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

管理運営業務委託	27,803千円	スポーツ教室等運営業務委託	14,018千円	光熱水費	3,100千円(電気料 1,953千円)
----------	----------	---------------	----------	------	----------------------

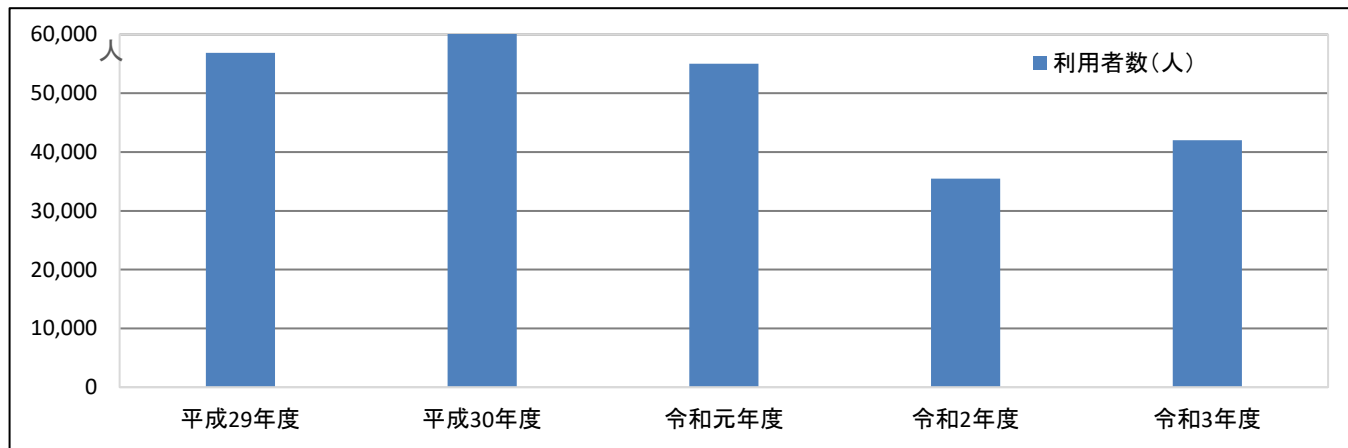
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和31年〕
試算	計画改修費	0.2億円	0.5億円
	物件費等の積算額	8.7億円	24.4億円
	合計	8.9億円	24.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	56,864	60,591	55,017	35,469	42,001



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (体育館・体育室)
利用者数	42,001	33,188
m ² あたり総コスト	115.41	101.39
1人あたり総コスト	1.34	1.58
m ² あたり物件費等	93.61	76.50
1人あたり物件費等	1.09	1.12
対前年増減率光熱水費(%)	48.04	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは5,772千円増加。また、物件費等は3,979千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約2か月半休業した。一方で、令和3年度は、約1か月の休業であったため、令和2年度より物件費等が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

施設の維持管理に係る経費の精査を行い、引き続き経費削減に取り組む。また、スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。

希望丘地域体育館

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和57年(40年)	672.00㎡	6,342.98㎡	7,051.23㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
船橋6-25-1	RC造	(地上/地下) 4/0	希望丘保育園、ほっとスクール「希望丘」、希望丘区民集会所、希望丘青少年交流センター「アップス」			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立地域体育館・地区体育室条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	地域及び地区住民の健康と相互交流を促進し、区民の福祉を増進するため、世田谷区立地域体育館(以下「地域体育館」という。)及び世田谷区立地区体育室(以下「地区体育室」という。)を設置する。		
小区分	体育館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	31m第二種高度地	準防火地域	5h-3h 4m
第一種中高層住居専用地	60	200	31m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	93,279	92,274	1,005	101
	物件費等	62,185	62,434	▲ 249	100
	物件費	62,185	62,288	▲ 103	
	うち光熱水費	7,090	5,736	1,354	
	うち委託料	54,980	56,374	▲ 1,394	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	0	146	▲ 146	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	26,680	26,680	0	
	その他	579	0	579	
	(配賦)人件費	2,511	1,898	613	
	(配賦)間接コスト	1,324	1,262	62	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	12,000	9,038	2,962	
	使用料・手数料	12,000	9,038	2,962	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	
	建物減価償却累計額	-	-	-	
	建物残存価額	-	-	-	

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託 39,782千円 運營業務委託 14,311千円 光熱水費 7,090千円(電気料 4,613千円)

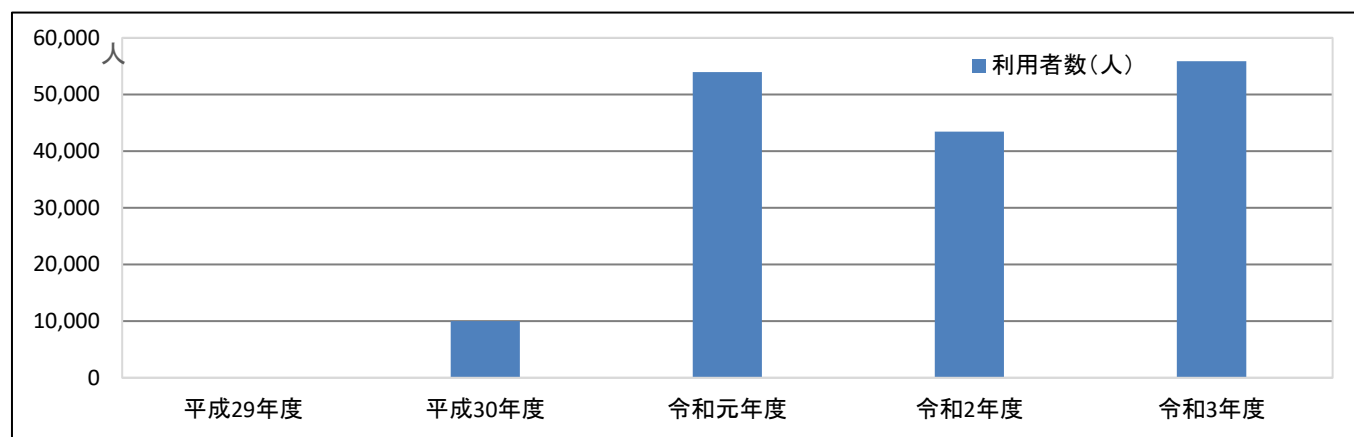
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和24年〕
試算	計画改修費	0.0億円	3.5億円
	物件費等の積算額	6.2億円	13.1億円
	合計	6.2億円	16.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)		9,997	53,975	43,470	55,901



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (体育館・体育室)
利用者数	55,901	33,188
m ² あたり総コスト	138.81	101.39
1人あたり総コスト	1.67	1.58
m ² あたり物件費等	92.54	76.50
1人あたり物件費等	1.11	1.12
対前年増減率光熱水費(%)	23.61	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは1,005千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約2か月休業した。一方で、令和3年度は、約1か月の休業であったため、令和2年度より光熱水費等が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

施設の維持管理に係る経費の精査を行い、引き続き経費削減に取り組む。また、スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。

北鳥山地区体育室

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和61年(36年)	159.00㎡	1,994.00㎡	255.53㎡	区所有	指定管理	(株)リパティヒル
住所	構造	階数	複合施設名称			
北鳥山8-1-6	S造	(地上/地下) 1/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立地域体育館・地区体育室条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	地域及び地区住民の健康と相互交流を促進し、区民の福祉を増進するため、世田谷区立地域体育館(以下「地域体育館」という。)及び世田谷区立地区体育室(以下「地区体育室」という。)を設置する。		
小区分	体育室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第二種中高層住居専用地	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	3h-2h 4m
その他	北鳥山九丁目地区地区街づくり計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	24,191	25,647	▲ 1,456	94
	物件費等	18,776	18,917	▲ 141	99
	物件費	18,776	18,917	▲ 141	
	うち光熱水費	872	875	▲ 3	
	うち委託料	17,570	17,713	▲ 143	
	うち土地建物設備賃借料	271	271	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	720	720	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	3,114	3,532	▲ 418	
	(配賦)間接コスト	1,581	2,478	▲ 897	
	投資的経費	0	1,342	▲ 1,342	
収入	総収入	1,010	755	255	
	使用料・手数料	980	755	225	
	その他	30	0	30	
建物情報	建物取得価額	57,938			
	建物減価償却累計額	57,938			
	建物残存価額	0			

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

管理運営業務委託 17,570千円	光熱水費 872千円(電気料 774千円)
-------------------	-----------------------

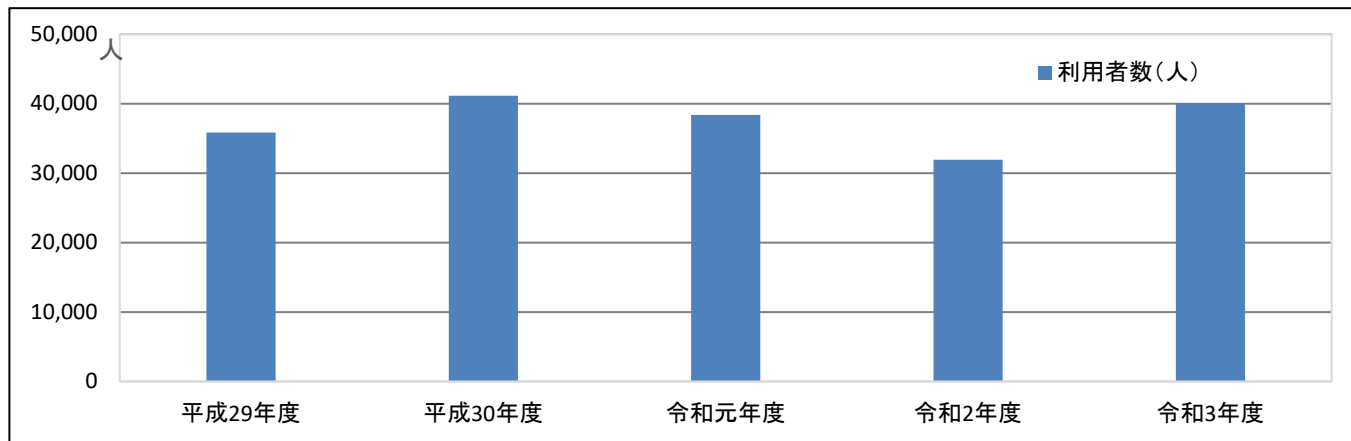
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和33年〕
試算	計画改修費	0.4億円	0.8億円
	物件費等の積算額	1.9億円	5.7億円
	合計	2.3億円	6.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	35,840	41,148	38,353	31,938	40,037



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (体育館・体育室)
利用者数	40,037	33,188
m ² あたり総コスト	152.14	101.39
1人あたり総コスト	0.60	1.58
m ² あたり物件費等	118.09	76.50
1人あたり物件費等	0.47	1.12
対前年増減率光熱水費(%)	-0.34	-

◆ 施設の分析・考察

【施設間比較】m²あたりの総コスト、物件費等共にスポーツ施設(体育館・体育室)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【施設間比較】同施設分類の中では専有面積が最小のため、比較するとm²あたりの経費が割高となっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。

池尻小学校第2体育館

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和50年(47年)	667.00㎡		18,070.00㎡	10,141.00㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
池尻2-4-10	RC造	(地上/地下) 4/0	池尻小学校、池尻小学校ふれあいルーム				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	教育政策・生涯学習部教育環境課	設置根拠	世田谷区立学校施設使用条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立学校の施設(以下「学校施設」という。)の使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	体育館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	33,527	31,649	1,878	106
	物件費等	19,393	16,972	2,421	114
	物件費	19,393	16,733	2,660	
	うち光熱水費	2,012	110	1,902	
	うち委託料	17,302	16,543	759	
	うち土地建物設備賃借料	35	35	0	
	維持補修費	0	239	▲ 239	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	13,686	14,403	▲ 717	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	376	212	164	
	(配賦)間接コスト	72	62	10	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	0	1	▲ 1	
	使用料・手数料	0	1	▲ 1	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	
	建物減価償却累計額	-	-	-	
	建物残存価額	-	-	-	

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 16,808千円 光熱水費 2,012千円(水道料 1,377千円)

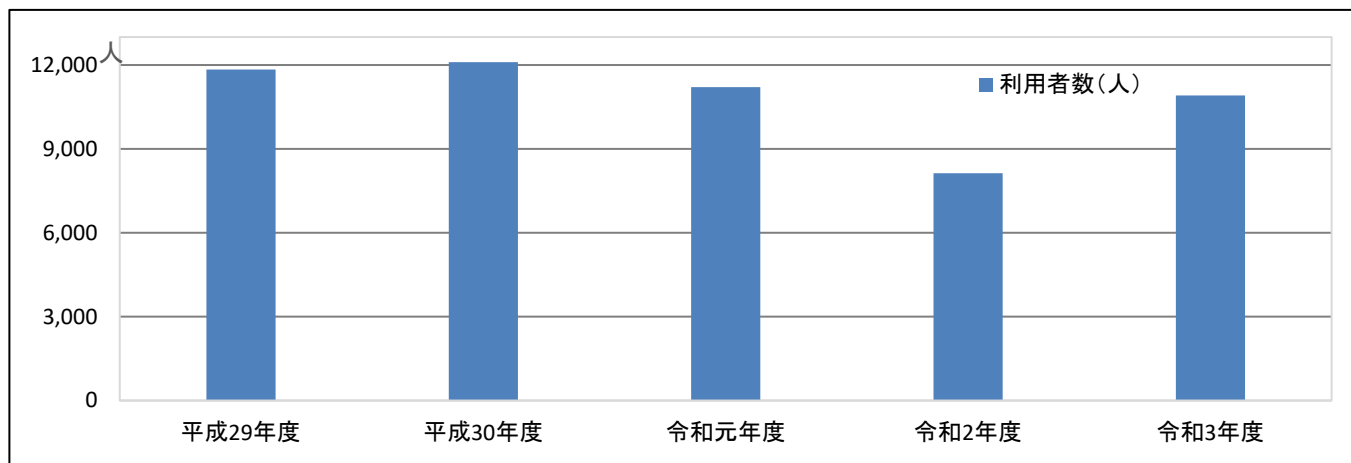
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和22年〕
試算	計画改修費	4.1億円	4.1億円
	物件費等の積算額	1.8億円	3.5億円
	合計	5.9億円	7.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	11,834	12,103	11,210	8,128	10,913



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (体育館・体育室)
利用者数	10,913	33,188
m ² あたり総コスト	50.26	101.39
1人あたり総コスト	3.07	1.58
m ² あたり物件費等	29.07	76.50
1人あたり物件費等	1.78	1.12
対前年増減率光熱水費(%)	1729.09	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは1,878千円増加。また、物件費等は2,421千円増加。
【施設間比較】1人あたりの総コスト、物件費等共にスポーツ施設(体育館・体育室)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約3か月休業した。一方で、令和3年度は、約1か月の休業であったため、令和2年度より物件費等が増加した。
【施設間比較】
同施設分類の中で利用者数が10,000人程度と最も少ないため、比較すると1人あたりの総コスト、物件費等共にスポーツ施設(体育館・体育室)の中で最も高いと考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

本施設は今後「新たな産業活性化拠点」としての開設(経済産業部が所管)を予定しており、これに合わせて、教育財産から普通財産への切り替えを行う予定。
令和6年度は整備工事に伴い、体育館内開放施設の一時休館を予定しているが、工事の影響を踏まえながらも、スポーツ施設利用者の利便性等の向上を図るとともに、管理運営経費の削減を図り、合理的で質の高い学校開放施設の管理運営の実現に努めていく。

八幡山小学校地域体育館

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成10年(24年)	410.00㎡		13,736.64㎡	8,377.00㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
八幡山1-14-1	RC造	(地上/地下) 3/0	八幡山小学校、八幡山小学校新BOP				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	教育政策・生涯学習部教育環境課	設置根拠	世田谷区立学校施設使用条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立学校の施設(以下「学校施設」という。)の使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	体育館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	世田谷区西部地域上北沢・桜上水・八幡山地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	20,629	19,908	721	104
	物件費等	20,172	19,650	522	103
	物件費	20,172	19,650	522	
	うち光熱水費	775	663	112	
	うち委託料	19,328	18,916	412	
	うち土地建物設備賃借料	29	32	▲3	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	384	201	183	
	(配賦)間接コスト	73	57	16	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	956	1,158	▲202	
	使用料・手数料	956	1,158	▲202	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	
	建物減価償却累計額	-	-	-	
	建物残存価額	-	-	-	

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 19,219千円 光熱水費 775千円(電気料 478千円)

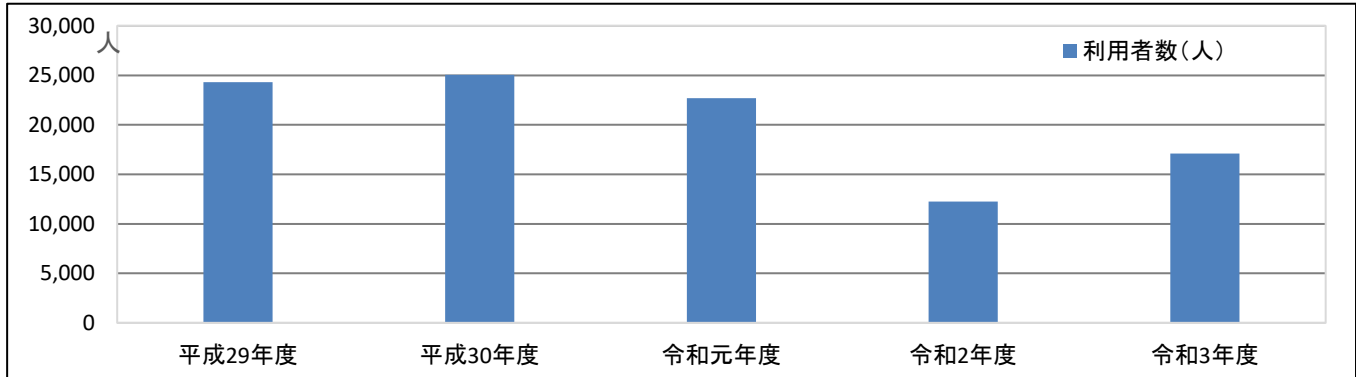
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和45年〕
試算	計画改修費	0.5億円	3.0億円
	物件費等の積算額	2.0億円	8.4億円
	合計	2.5億円	11.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	24,331	25,048	22,695	12,269	17,088



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (体育館・体育室)
利用者数	17,088	33,188
m ² あたり総コスト	50.31	101.39
1人あたり総コスト	1.21	1.58
m ² あたり物件費等	49.20	76.50
1人あたり物件費等	1.18	1.12
対前年増減率光熱水費(%)	16.89	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは721千円増加。また、物件費等522千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約3か月休業した。一方で、令和3年度は、約1か月の休業であったため、令和2年度より物件費等が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツ施設利用者の利便性等の向上を図るとともに、管理運営経費の削減を図り、合理的で質の高い学校開放施設の管理運営の実現に努めていく。

大蔵運動場
(総合運動場)

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和41年(56年)	10,234.78㎡		93,830.72㎡	10,384.78㎡	区所有	指定管理	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
大蔵4-6-1	RC造	(地上/地下) 2/2	大蔵広域用防災倉庫				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立総合運動場条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立総合運動場(以下「総合運動場」という。)の設置、管理等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	総合運動場				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	311,407	269,321	42,086	116
	物件費等	258,555	217,209	41,346	119
	物件費	258,555	217,209	41,346	
	うち光熱水費	86,128	52,762	33,366	
	うち委託料	171,758	156,740	15,018	
	うち土地建物設備賃借料	29	32	▲ 3	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	44,609	44,609	0	
	その他	986	849	137	
	(配賦)人件費	4,567	4,005	562	
	(配賦)間接コスト	2,690	2,649	41	
	投資的経費	27,673	24,511	3,162	
収入	総収入	20,240	4,543	15,697	
	使用料・手数料	0	1,192	▲ 1,192	
	その他	20,240	3,351	16,889	
建物情報	建物取得価額	2,847,893			
	建物減価償却累計額	1,194,881			
	建物残存価額	1,653,012			

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

管理運営業務委託	132,857千円	光熱水費	86,128千円(水道料 38,544千円)	ESCO事業サービス委託	38,280千円
----------	-----------	------	------------------------	--------------	----------

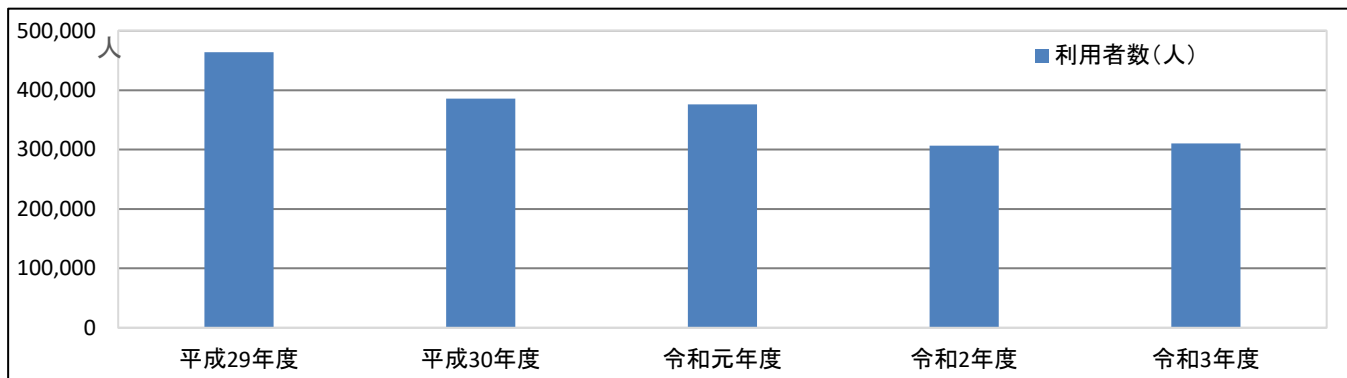
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和13年〕
試算	計画改修費	—	5.6億円
	物件費等の積算額	—	23.8億円
	合計	—	29.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)		463,945	386,024	376,192	306,622	310,568



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (総合運動場)
利用者数	310,568	341,056
m ² あたり総コスト	30.43	27.93
1人あたり総コスト	1.00	0.75
m ² あたり物件費等	25.26	23.79
1人あたり物件費等	0.83	0.63
対前年増減率光熱水費(%)	63.24	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは42,086千円増加。また、物件費等は41,346千円増加。
【施設間比較】m²あたり、1人あたりの総コスト、物件費等共にスポーツ施設(総合運動場)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約2か月休業した。一方で、令和3年度は、1か月弱の休業であったため、令和2年度より物件費等が増加した。
【施設間比較】
区の拠点スポーツ施設として、体育館などの主要な施設の他、弓道場やエアライフル場など、幅広い種目に対応していることや比較対象施設が利用者数の多いゴルフ練習場を保有する大蔵第二運動場であることが、施設間比較をした時の高くなる要因と考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

施設の維持管理に係る経費の精査を行い、引き続き経費削減に取り組む。また、スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。
令和13年に築65年を迎える体育館の老朽化や、大蔵第二運動場との機能重複などの課題に対して、両施設を一体的に捉えた整備計画の検討を進めていく。

大蔵第二運動場

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和55年(42年)	7,267.99㎡		40,560.12㎡	8,118.99㎡	区所有	指定管理	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
大蔵4-7-1	RC造	(地上/地下) 3/0	大蔵第二運動場屋外プール				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立大蔵第二運動場条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	区民にスポーツ及びレクリエーション活動を行う機会及び場を提供することにより、心身ともに健康で豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会の形成に寄与するため、世田谷区立大蔵第二運動場(以下「運動場」という。)を設置する。		
小区分	総合運動場				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	184,795	180,718	4,077	102
	物件費等	162,179	154,821	7,358	105
	物件費	162,179	154,821	7,358	
	うち光熱水費	33,539	21,130	12,409	
	うち委託料	113,253	115,396	▲ 2,143	
	うち土地建物設備賃借料	14,965	7,892	7,073	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	10,126	10,126	0	
	その他	17	49	▲ 32	
	(配賦)人件費	6,345	10,093	▲ 3,748	
	(配賦)間接コスト	6,128	5,629	499	
	投資的経費	103,887	108,751	▲ 4,864	
収入	総収入	230,681	5,141	225,540	
	使用料・手数料	561	1,362	▲ 801	
	その他	230,120	3,779	226,341	
建物情報	建物取得価額	281,900			
	建物減価償却累計額	78,022			
	建物残存価額	203,878			

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

管理運営業務委託	113,253千円	光熱水費	33,539千円(電気料 18,405千円)	休憩所の賃貸借	14,965千円
----------	-----------	------	------------------------	---------	----------

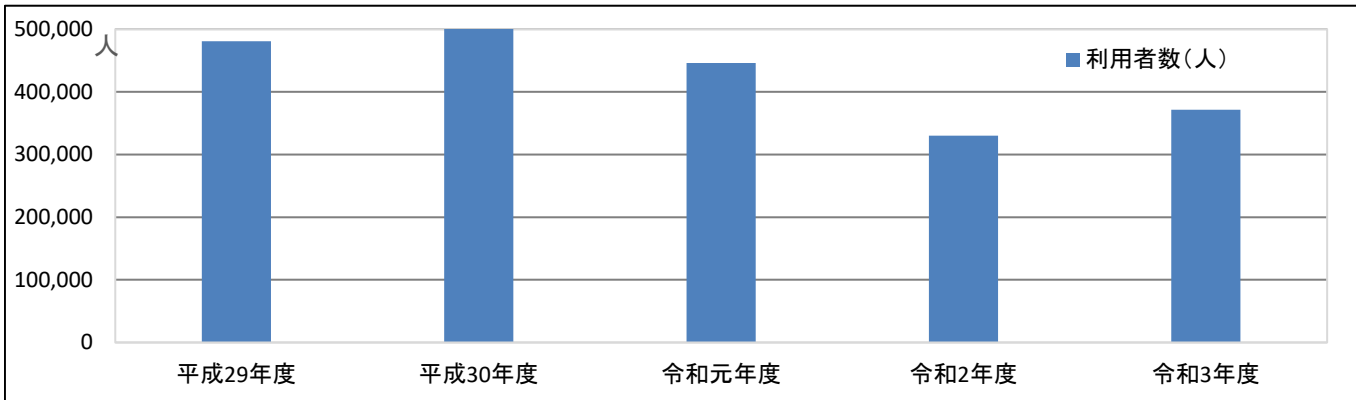
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和27年〕
試算	計画改修費	0.0億円	0.0億円
	物件費等の積算額	15.9億円	38.0億円
	合計	15.9億円	38.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	480,491	501,283	445,875	330,204	371,544



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (総合運動場)
利用者数	371,544	341,056
m ² あたり総コスト	25.43	27.93
1人あたり総コスト	0.50	0.75
m ² あたり物件費等	22.31	23.79
1人あたり物件費等	0.44	0.63
対前年増減率光熱水費(%)	58.73	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは4,077千円増加。また、物件費等は7,358千円増加。
※ESCO事業実施済み。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約2か月休業した。一方で、令和3年度は、1か月弱の休業であったため、令和2年度より物件費等が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

施設の維持管理に係る経費の精査を行い、引き続き経費削減に取り組む。また、スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。
運動施設面積の超過や、大蔵運動場との機能重複などの課題に対して、両施設を一体的に捉えた整備計画の検討を進めていく。

大蔵運動場温水プール
(総合運動場温水プール)

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成7年(27年)	3,147.71㎡		17,243.25㎡	7,038.23㎡	区所有	指定管理	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
大蔵4-6-1	SRC造	(地上/地下) 2/2	-				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立総合運動場条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立総合運動場(以下「総合運動場」という。)の設置、管理等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	温水プール				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	236,398	320,189	▲ 83,791	74
	物件費等	115,791	199,592	▲ 83,801	58
	物件費	115,791	199,592	▲ 83,801	
	うち光熱水費	22,831	36,237	▲ 13,406	
	うち委託料	92,597	156,839	▲ 64,242	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	114,064	114,064	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	4,130	3,954	176	
	(配賦)間接コスト	2,413	2,579	▲ 166	
投資的経費	4,045	972	3,073		
収入	総収入	763	2	761	
	使用料・手数料	418	0	418	
	その他	345	2	343	
建物情報	建物取得価額	5,184,734			
	建物減価償却累計額	2,965,668			
	建物残存価額	2,219,066			

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

管理運営業務委託 92,597千円 光熱水費 22,831千円(水道料 9,077千円 ガス料 7,814千円)

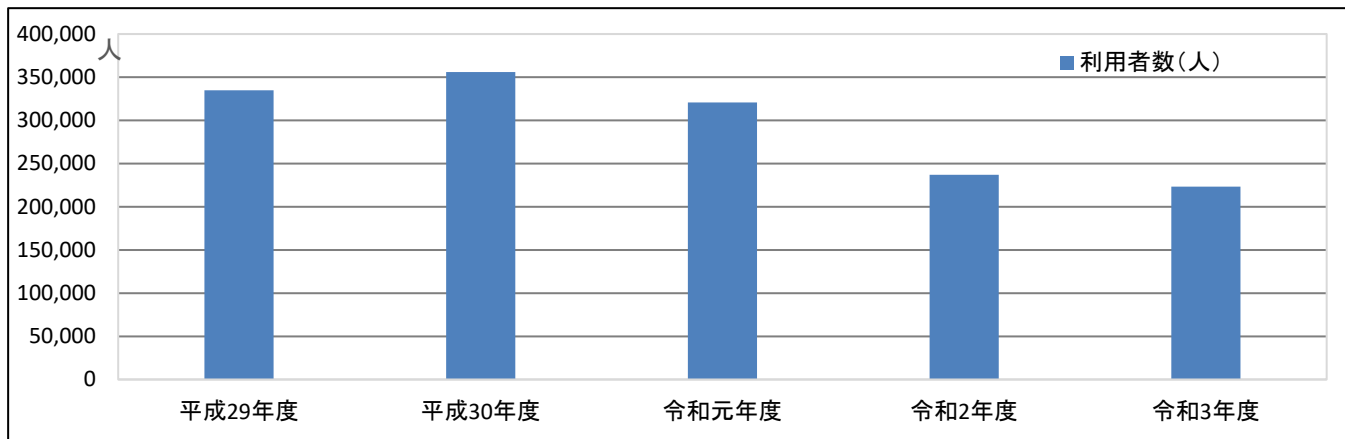
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和42年〕
試算	計画改修費	0.0億円	0.0億円
	物件費等の積算額	15.8億円	61.5億円
	合計	15.8億円	61.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	334,694	355,848	320,890	237,013	223,114



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (温水プール)
利用者数	223,114	98,423
m ² あたり総コスト	75.10	109.71
1人あたり総コスト	1.06	1.33
m ² あたり物件費等	36.79	93.23
1人あたり物件費等	0.52	1.18
対前年増減率光熱水費(%)	-37.00	-

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】利用者数が昨年度より13,899人に減少。

※ESCO事業実施済み。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】

令和3年度は、USOPCの施設利用による休業及び新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、休業、時短営業や利用人数制限を実施したため、利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。また、今後検討を進めていく大蔵運動場、大蔵第二運動場の整備計画の中で、温水プールとしての課題や方向性を検討していく。

千歳温水プール

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成11年(23年)	1,227.80㎡		20,266.35㎡	7,777.11㎡	区所有	指定管理	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
船橋7-9-1	RC造	(地上/地下) 4/2	-				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	スポーツ推進部スポーツ施設課	設置根拠	世田谷区立千歳温水プール条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	区民のスポーツ振興、健康増進、青少年健全育成及び老人福祉の増進を図るため、世田谷区立千歳温水プール(以下「温水プール等」という。)を設置する。		
小区分	温水プール				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	31m第二種高度地	準防火地域	5h-3h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	296,409	327,672	▲ 31,263	90
	物件費等	223,665	252,488	▲ 28,823	89
	物件費	223,521	252,488	▲ 28,967	
	うち光熱水費	53,117	52,882	235	
	うち委託料	162,506	188,611	▲ 26,105	
	うち土地建物設備賃借料	7,471	9,961	▲ 2,490	
	維持補修費	144	0	144	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	62,970	62,970	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	4,871	6,612	▲ 1,741	
	(配賦)間接コスト	4,903	5,602	▲ 699	
	投資的経費	48,124	4,778	43,346	
収入	総収入	2,357	2,189	168	
	使用料・手数料	821	952	▲ 131	
	その他	1,536	1,237	299	
建物情報	建物取得価額	3,415,375			
	建物減価償却累計額	1,591,560			
	建物残存価額	1,553,815			

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

管理業務委託	161,990千円	光熱水費	53,117千円(水道料 25,488千円)
--------	-----------	------	------------------------

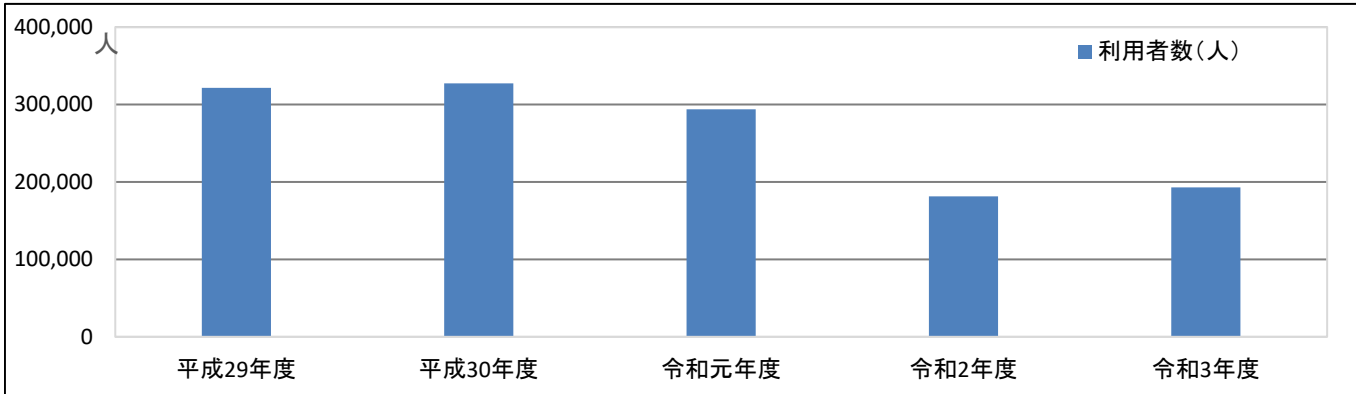
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和46年〕
試算	計画改修費	7.6億円	21.5億円
	物件費等の積算額	23.8億円	102.4億円
	合計	31.4億円	123.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	321,316	327,421	293,851	181,574	192,887



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (温水プール)
利用者数	192,887	98,423
m ² あたり総コスト	241.41	109.71
1人あたり総コスト	1.54	1.33
m ² あたり物件費等	182.17	93.23
1人あたり物件費等	1.16	1.18
対前年増減率光熱水費(%)	0.44	-

◆ 施設の分析・考察

【施設間比較】m²あたりの総コストと物件費等、1人あたりの総コストがスポーツ施設(温水プール)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【施設間比較】

温水プールの他にトレーニングルーム、体育室、集会室、健康運動室等を備えている施設のため、m²あたりの総コストと物件費等、1人あたりの総コストが高くなっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツニーズの多様化に伴い、より一層利用者ニーズに適した管理運営が求められるため、引き続き管理運営の最適化を目指し、利用者の利便性向上や管理経費の削減を図り、合理的で質の高い施設運営に努めていく。また、令和5年度末よりESCO工事を実施する予定であり、工事完了後のサービス期間も含め、維持運営経費の削減を図っていく。

太子堂中学校温水プール

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和39年(58年)	645.12㎡		9,060.22㎡	7,621.16㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
太子堂3-27-17	RC造	(地上/地下) 4/1	太子堂中学校				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	教育政策・生涯学習部教育環境課	設置根拠	世田谷区立学校施設使用条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立学校の施設(以下「学校施設」という。)の使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	温水プール				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	3h-2h 4m
その他	太子堂二・三丁目地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	63,071	67,037	▲ 3,966	94
	物件費等	62,787	66,544	▲ 3,757	94
	物件費	62,683	63,147	▲ 464	
	うち光熱水費	12,705	13,670	▲ 965	
	うち委託料	49,777	48,760	1,017	
	うち土地建物設備賃借料	29	32	▲ 3	
	維持補修費	104	3,397	▲ 3,293	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	202	382	▲ 180	
	(配賦)間接コスト	82	111	▲ 29	
	投資的経費	0	1,375	▲ 1,375	
収入	総収入	7,182	7,046	136	
	使用料・手数料	7,182	7,046	136	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	-
	建物減価償却累計額	-	-	-	-
	建物残存価額	-	-	-	-

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 37,789千円 光熱水費 12,705千円(水道料 4,164千円) 設備維持管理業務委託 11,198千円

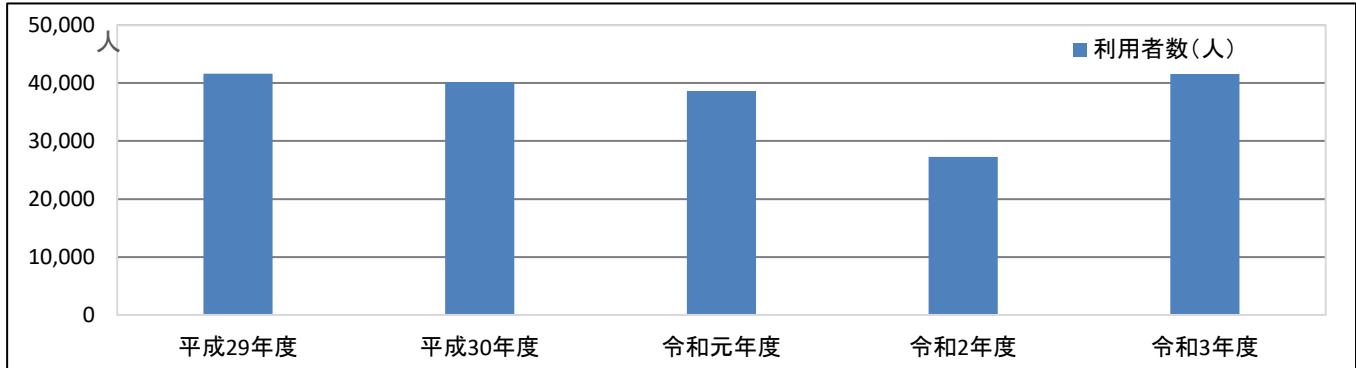
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和11年〕
試算	計画改修費	—	2.0億円
	物件費等の積算額	—	5.2億円
	合計	—	7.2億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	41,638	40,175	38,612	27,258	41,555



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (温水プール)
利用者数	41,555	98,423
m ² あたり総コスト	97.77	109.71
1人あたり総コスト	1.52	1.33
m ² あたり物件費等	97.33	93.23
1人あたり物件費等	1.51	1.18
対前年増減率光熱水費(%)	-0.76	-

◆ 施設の分析・考察

【施設間比較】1人あたりの物件費等がスポーツ施設(温水プール)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【施設間比較】

同施設分類の中で利用者数が40,000人程度と少ないため、比較すると1人あたりの物件費等がスポーツ施設(温水プール)の中で最も高いと考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツ施設利用者の利便性等の向上を図るとともに、管理運営経費の削減を図り、合理的で質の高い学校開放施設の管理運営の実現に努めていく。

梅丘中学校温水プール

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和36年(61年)	756.00㎡		12,906.00㎡	10,563.00㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
松原6-5-11	RC造	(地上/地下) 4/1	梅丘中学校、梅丘高齢者在宅サービスセンター				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	教育政策・生涯学習部教育環境課	設置根拠	世田谷区立学校施設使用条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立学校の施設(以下「学校施設」という。)の使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	温水プール				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	75,846	63,335	12,511	120
	物件費等	75,641	62,842	12,799	120
	物件費	75,385	61,857	13,528	
	うち光熱水費	18,384	13,608	4,776	
	うち委託料	56,910	48,155	8,755	
	うち土地建物設備賃借料	38	38	0	
	維持補修費	256	985	▲ 729	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	163	382	▲ 219	
	(配賦)間接コスト	42	111	▲ 69	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	7,804	8,585	▲ 781	
	使用料・手数料	7,804	8,585	▲ 781	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	-
	建物減価償却累計額	-	-	-	-
	建物残存価額	-	-	-	-

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 37,047千円 光熱水費 18,384千円(電気料 8,094千円) 保守管理業務委託 17,302千円

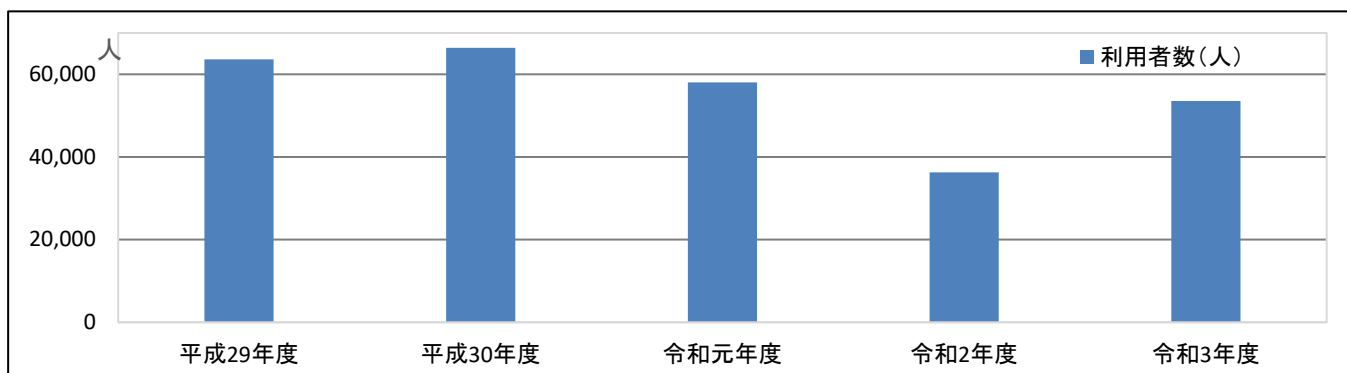
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和8年〕
試算	計画改修費	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	3.5億円
	合計	—	3.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	63,639	66,390	58,043	36,249	53,558



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (温水プール)
利用者数	53,558	98,423
m ² あたり総コスト	100.33	109.71
1人あたり総コスト	1.42	1.33
m ² あたり物件費等	100.06	93.23
1人あたり物件費等	1.41	1.18
対前年増減率光熱水費(%)	35.10	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】前年度より総コストは12,511千円増加。また、物件費等は12,799千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、約3か月休業した。一方で、令和3年度は、約1か月の休業であったため、令和2年度より物件費等が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツ施設利用者の利便性等の向上を図るとともに、管理運営経費の削減を図り、合理的で質の高い学校開放施設の管理運営の実現に努めていく。

玉川中学校温水プール

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成7年(27年)	666.60㎡	24,485.00㎡	19,345.00㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
中町4-21-1	RC造	(地上/地下) 4/1	中町・玉川広域用防災倉庫、玉川中学校			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	教育政策・生涯学習部教育環境課	設置根拠	世田谷区立学校施設使用条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立学校の施設(以下「学校施設」という。)の使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	温水プール				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地	50	100	15m第一種高度地	準防火地域	3h-2h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	42,984	47,583	▲ 4,599	90
	物件費等	42,779	46,996	▲ 4,217	91
	物件費	42,779	46,996	▲ 4,217	
	うち光熱水費	6,089	5,414	675	
	うち委託料	36,653	40,719	▲ 4,066	
	うち土地建物設備賃借料	38	38	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	163	463	▲ 300	
	(配賦)間接コスト	42	124	▲ 82	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	7,051	7,987	▲ 936	
	使用料・手数料	7,051	7,987	▲ 936	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	-
	建物減価償却累計額	-	-	-	-
	建物残存価額	-	-	-	-

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 36,653千円 光熱水費 6,089千円(電気料 2,695千円 ガス料 2,272千円)
--

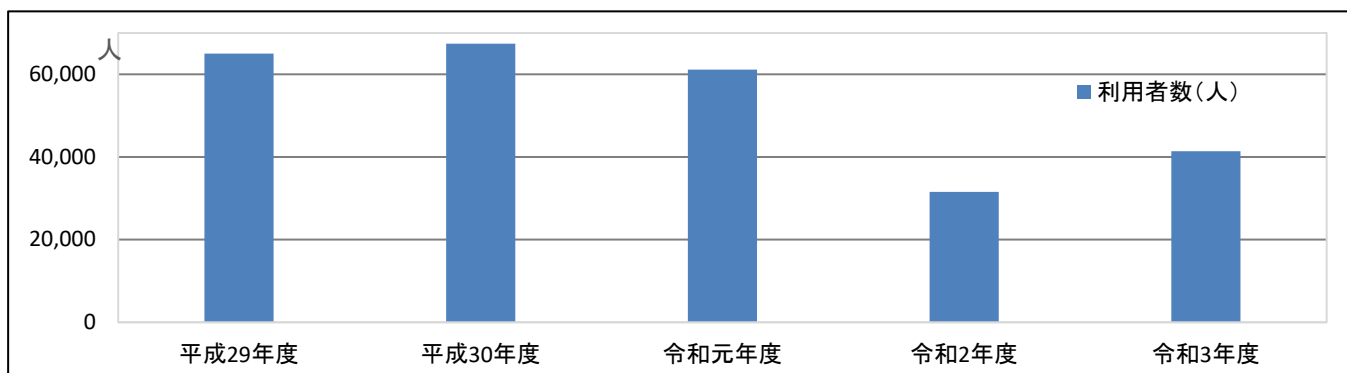
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで [令和42年]
試算	計画改修費	1.6億円	2.9億円
	物件費等の積算額	4.5億円	17.5億円
	合計	6.1億円	20.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	64,979	67,378	61,147	31,517	41,397



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (温水プール)
利用者数	41,397	98,423
m ² あたり総コスト	64.48	109.71
1人あたり総コスト	1.04	1.33
m ² あたり物件費等	64.17	93.23
1人あたり物件費等	1.03	1.18
対前年増減率光熱水費(%)	12.47	-

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】施設種別平均と比べ利用者数が41,397人と低調。
※ESCO事業実施済み。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】
学校施設として開放している他の温水プールと比較すると、妥当な利用者数である。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツ施設利用者の利便性等の向上を図るとともに、管理運営経費の削減を図り、合理的で質の高い学校開放施設の管理運営の実現に努めていく。

鳥山中学校温水プール

◆ 施設概要(令和4年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成16年(18年)	686.40㎡		13,359.00㎡	11,661.78㎡	区所有	委託	(公財)世田谷区スポーツ振興財団
住所	構造	階数	複合施設名称				
南鳥山4-26-1	RC造	(地上/地下) 3/1	鳥山中学校クライミングウォール、教育相談室鳥山分室、鳥山中学校、鳥山児童館				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	スポーツ施設	所管	教育政策・生涯学習部教育環境課	設置根拠	世田谷区立学校施設使用条例
中区分	スポーツ施設	設置目的	世田谷区立学校の施設(以下「学校施設」という。)の使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。		
小区分	温水プール				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
近隣商業地域	80	300	28m第三種高度地	準防火地域	5h-3h 4m
準住居地域	60	300	45m第二種高度地	防火地域	4h-2.5h 4m
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
近隣商業地域	80	300	45m第三種高度地	防火地域	5h-3h 4m
その他	千歳鳥山駅周辺地域地区街づくり計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和3年度	令和2年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	54,341	57,378	▲ 3,037	95
	物件費等	54,136	56,885	▲ 2,749	95
	物件費	54,136	56,885	▲ 2,749	
	うち光熱水費	14,467	8,510	5,957	
	うち委託料	39,631	48,337	▲ 8,706	
	うち土地建物設備賃借料	38	38	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	163	382	▲ 219	
	(配賦)間接コスト	42	111	▲ 69	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	5,235	5,858	▲ 623	
	使用料・手数料	5,235	5,858	▲ 623	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	
	建物減価償却累計額	-	-	-	
	建物残存価額	-	-	-	

◆ 令和3年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 37,627千円 光熱水費 14,467千円(電気料 8,053千円 ガス料 3,197千円)

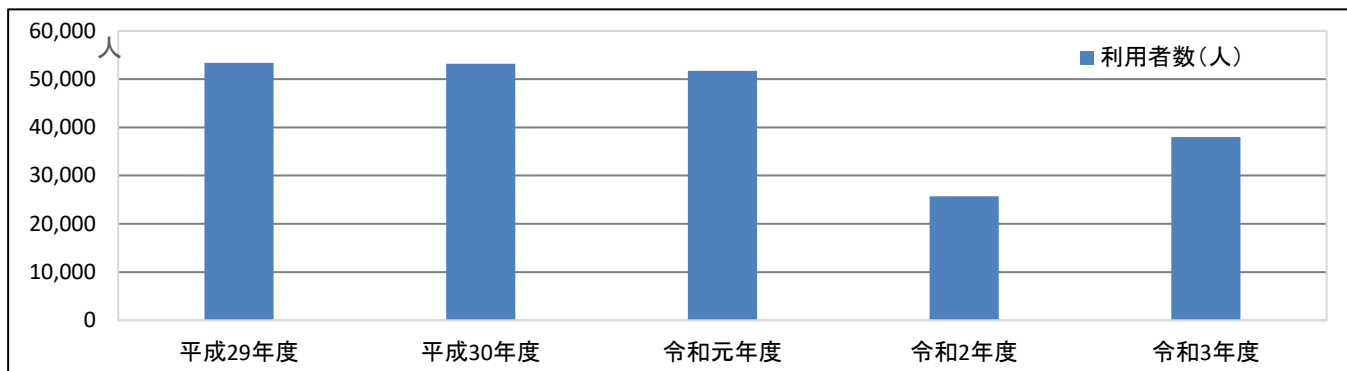
◆ 将来想定経費 ※令和4年以降

		10年間	築65年まで 〔令和51年〕
試算	計画改修費	1.7億円	3.2億円
	物件費等の積算額	5.6億円	26.6億円
	合計	7.3億円	29.8億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	53,384	53,226	51,752	25,729	38,027



◆ 施設間比較

	令和3年度	施設種別平均 (温水プール)
利用者数	38,027	98,423
m ² あたり総コスト	79.17	109.71
1人あたり総コスト	1.43	1.33
m ² あたり物件費等	78.87	93.23
1人あたり物件費等	1.42	1.18
対前年増減率光熱水費(%)	70.00	-

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】施設種別平均と比べ利用者数が38,027人と低調。
※ESCO事業実施中。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】
学校施設として開放している他の温水プールと比較すると、妥当な利用者数である。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

スポーツ施設利用者の利便性等の向上を図るとともに、管理運営経費の削減を図り、合理的で質の高い学校開放施設の管理運営の実現に努めていく。